

留学先大学：クイーンズランド大学
 留学先での所属学部・研究科：なし
 留学先での在籍身分：交換留学生
 留学期間：2013年2月～2013年11月
 神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
 学年（出発時）：3年
 本報告書記入日：2013年5月6日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

大学のホームページ。http://www.uq.edu.au/

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）シェアハウス（3人）
住居（寮、アパート）の名前：
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）リビング&キッチン共同、洗面所トイレお風呂は個人
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：留学生） その他（具体的に）
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）
- ・大学までの通学時間・手段：15分、徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

学校のすぐ近くに住んでいて比較的静かです。しかし、夜は街灯がどこも少ないです。また近くには小さなスーパーマーケットがあり、朝早くから夜遅くまであいているので便利です。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的に自炊。または学校のカフェテリアで購入(大体AUS\$6~10)。チャイナタウンも電車ですぐなので、日本の調味料や食品も手に入りやすい環境だと思います。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

到着後一か月はICTE-UQ(語学学校)の斡旋でホームステイをしていました。シェアハウスも比較的すぐに見つかりましたが、自分の足で行き、英語で質問・交渉などをするのは少ししんどかったと思います。一週間にAUS\$210(家賃、インターネット電気水道込み)、食費は月にAUS\$300~400。家賃にかかる費用はAUS\$8,530(契約金AUS\$760を含み、37週間住む予定で計算)です。生活費全体となると、それに食費を足して、AUS\$11,230~12,130位。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

留学生向けにライティングのクラスがあります。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Writing for International Student	Ms Lucy Fraser	50分 × 3	2	60	主な課題はEssay(1000,2000words)。 教科書あり。 全員留学生でもおにEssayの書き方、構造などを勉強。
2	Contemporary Australia	Dr Robert Hogg	50分 × 2	2	70	日本のゼミと同じ。 予習は教科書を10ページほど読み、授業で議論する。 500語が4回と期末に2000語のEssayがある。
3	Spoken Korean IA	Dr Isaac Lee	50分 × 3	2	120	オーラルテスト、単語テストといったものが2週間に1回 ある、また期末はプレゼンテーションテストがある。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的に50分×1～2回の講義と50分×1～2回のチュートリアルがある(合計各授業が週に50分×3回)。成績はチュートリアルへの出席、その他Assignment、期末にレポート・テストが基本。講義は留学生向けに録音されているものが多く、復習などもしやすい。

学生は基本的に平日は勉強、図書館も24時間。なので平日は図書館が込み合っていて、週末はパーティなどと遊んでいます。先生もメールやOffice Hourなどで質問などアクセスしやすく、Student Supportという機関もあり、学生特に留学生に対する支援が多いと思います。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	韓国語 講義		ライティ ング	現代オー ストラリ ア		近くの小 学校でボ ランティ ア	友達と遊 んだり、 課題が多 いときは 図書館に 行きます。 す。
10:00		ライティ ング講義	チュート リアル		韓国語 チュート リアル		
11:00							
12:00							
13:00	日本語会 話クラスの 手伝い	ジムで運 動	ジムで運 動	日本語会 話クラスの 手伝い	Language Exchange	家の掃除	
14:00							
15:00							
16:00							
17:00				Language Exchange			
18:00					買い物 (食品は週 末に一週 間分買い 込みます)		
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

生活面について。

私はブリスベンに来て初めの1ヶ月はホームステイをしていました。こちらに来てすぐにこうしたホテルなどではなく、ちゃんとした家で生活できたのはとてもよかったと思います。というのも、ブリスベンという全く知らない街にたった一人で生活を始めるのではなく、ホストファミリーからこの町の習慣やルールなどを教えてもらいながら新生活を始めることができたからです。交通の面では、学生割引のサービスが多く、交通機関もたいい時間通りに来ます。Cityと呼ばれる町の中心地にも近く、買い物をするのも特に不便を感じたことはありません。オーストラリアということもあって様々な国のレストランがたくさんあり(もちろん日本食も)、ここに生活しているだけでたくさんの文化を知る機会に恵まれています。ただ、夜は人通りもあまりなく暗い場所が多いので友達といない限り出歩くことはありません。レストラン以外のお店は日本に比べて早く閉まる店が多く(特にPublic Holidayはほとんどすべてのお店が閉まります。)、少しもの足りなさを感じたこともあります。

精神面について。

初めの2、3週間は精神的に少し辛い時期がありました。一番は言語や文化の壁だったと思います。どこに行くにも英語を話すというだけで緊張し、すぐに疲れてしまい、また語学学校でできた友達ともコミュニケーションがうまくいかないときもありました。しかし、時間がたつにつれて、生活の面でも言語の面でも慣れてゆき、今では毎日楽しく過ごしています。この学期が始まってすぐは、友達作りに初めは苦労しましたが、日本語を学習している現地学生を通じてたくさんの友人ができました。2、3か月たつと、現地の英語にだんだん耳も慣れてゆき、今までできなかった話もできるようになったり冗談を言うようになったり、友達と話すのが楽しくて仕方がないです。またクイーンズランド大学の日本人教授の先生が、私のような交換留学生の精神的なサポートをしてくれています。不思議なことにホームシックにはまだかかっていません。

勉強面について。

毎日のように図書館にいて、予習・復習・課題をこなす日々を送っています。どれをこなすにも、日本語のようにはいかずいつも辞書を片手に悪戦苦闘しています。授業の担当の先生はどの方もやさしく、質問をしても丁寧に教えてくれます。またどの授業にもチュートリアルが少人数で行われているので、勉強に対するサポート体制に感謝しています。英語に関しては、できるだけずっと英語だけを聞く環境を作るようにしています。しかしまだまだ表現できなかったり、言っていることがわからなかったりすることがあるので、毎日のこつこつとした努力を続けていこうと思います。

あっという間に過ぎて行った3か月なので、残りの約7か月も一日一日を大事にして頑張っていきたいと思います。